

ポーランド政治・社会情勢

(2012年2月2日～8日)

平成 24 年(2012 年)2 月 10 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>偽造品の取引の防止に関する協定(ACTA)をめぐる問題 クファシニエフスキ元大統領, パリコト議員と会談 コモロフスキ大統領, 年金制度改革の必要性に言及 NATO国防相級非公式会合開催 軍, F-16戦闘機用装備品等を米国から購入予定 コモロフスキ大統領等, ミュンヘン安全保障会議に出席 シコルスキ外相, 第17回バルト海諸国閣僚会議に出席 シリア情勢に対するポーランド外務省の対応 シコルスキ外相, ウクライナ訪問 アフガニスタン派遣部隊の規模縮小計画に関する報道 独国防相, ポーランド訪問 在オランダ・ポーランド大使館, オランダ野党P.V.V.の反移民ウェブサイト抗議</p> <p>経済</p> <p>EU予算交渉, 12月に終了予定 シェールガス開発に係る特別目的会社の設立 農業相, EUの食品残渣を指摘 国債の発行, 順調な見通し 2020年までに小規模農場が消失する可能性あり 補助金と減税, 企業優遇措置をめぐる動向 ディーゼル車の需要が減少 ポーランド, イノベーションで遅れ ポーランド産鶏肉, 中国に進出 増大する病気休暇申請が課題 PGE社社長交代と新投資戦略</p> <p>社会</p> <p>寒波による死者数53人に マドンナ, ワルシャワでコンサート開催予定</p> <p>大使館からのお知らせ</p> <p>平成24年度分教科書の配付について ヴロツワフ領事出張サービスについて 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事</p> <p style="text-align: center;">在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、在留届を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書 在外投票 旅券 戸籍 国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>

政	治
内	政

偽造品の取引の防止に関する協定(ACTA)をめぐる問題【3, 6日】

3日, トゥスク首相はACTAに関する社会協議が欠如していたことを認め, 少なくとも年内はACTAを批准しないと発言。6日, 同首相及び関係閣僚は, 専門家や市民らが参加するACTAに関する公開討論会に出席。

クファシニエフスキ元大統領, パリコト議員と会談【7日】

7日, クファシニエフスキ元大統領は, パリコト議員と会談し, ポーランドにおける左派政党の状況に

つき意見交換を行った。「パリコト運動」報道官は, 同会談は私的なものと説明。

コモロフスキ大統領, 年金制度改革の必要性に言及【8日】

8日, コモロフスキ大統領は, 議員団と下院の年金制度改革に関する協議を行った後, 新たな年金制度の構築は不可欠との見解を表明。さらに, 野党から出ている年金制度改革を国民投票にかけるとの提案に否定的な考えも示した。同日, カミシュ労働・社会政策相は, 間もなく年金支給年齢引き上げ法案を提出すると発言。

外	交
---	---

NATO国防相級非公式会合開催【2日】

2日, シェモニャク国防相は, ブリュッセルで開かれたNATO国防相級非公式会合に出席。ISAF貢献国会合, 北大西洋理事会等に参加。会合後, 国防相は記者団に対し, アフガニスタン駐留部隊の撤収については2010年のNATO首脳会議で規定されており, 我々は一緒に撤収するという原則を一貫して順守していると言明。

軍, F-16戦闘機用装備品等を米国から購入予定【2日】

2日, 米国防安全保障協力局(DSCA)は, ポーランド向けF-16戦闘機用装備品等のFMS(対外有償援助)契約予定内容(総額447百万ドル)を発表。同局は, 「同盟国ポーランドの強力な自衛能力構築への支援は米国にとっても重要。また, 今回の契約は地域の軍事バランスを変化させるものではない」とコメント。

コモロフスキ大統領等, ミュンヘン安全保障会議に出席【3~5日】

3~5日, コモロフスキ大統領は, ミュンヘン安全保障会議に出席。会議の席上, 北大西洋関係の変化に対応するため, EUは, 新安全保障戦略を策定することが必要である旨主張。また, シコルスキ外相及びシェモニャク国防相も同会議に同行し, 各国外相及び国防相と会談を行っている。

シコルスキ外相, 第17回バルト海諸国閣僚会議に出席【5日】

5日, シコルスキ外相は, プレーン(独)において開催された第17回バルト海諸国閣僚会議に出席。環バルト海地域の11か国のほか, 欧州対外活動庁からも代表が出席し, 地域におけるエネルギー安全保

障等について協議。

シリア情勢に対するポーランド外務省の対応【5, 6日】

5日, シコルスキ外相は, 中露が国連安全保障理事会におけるシリア決議案に拒否権を発動したことにより失望の意を表明。また, 6日, ポーランド外務省は, シリアに滞在する米国市民及び在シリア米国大使館の財産の保護に関する米国との合意に署名し, シリアにおいて, 在ポーランド大使館が米国大使館の業務を代行する旨発表。

シコルスキ外相, ウクライナ訪問【7日】

7日, シコルスキ外相は, ウクライナを訪問し, 両国外務省による年次会合に出席。本年の重要議題はサッカーのユーロ2012大会の準備。また, シコルスキ外相は, ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領, グリシェンコ同外相及び野党関係者等と会談。シコルスキ外相は, EUとウクライナの連合協定への仮署名は3月となる見込みであるが, 政治情勢にかんがみ, 署名は困難と発言。

アフガニスタン派遣部隊の規模縮小計画に関する報道【8日】

8日付ガゼタ・ヴィヴォルチャ紙は, 今秋, ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊の規模が, 2,500名から1,800名に削減され, 担当する地域も縮小される予定と報道。

独国防相, ポーランド訪問【8日】

8日, デ・メジエール独国防相がポーランド・シチェチンを訪問し, シェモニャク国防相と会談。アフガニスタン, NATOシカゴサミット, 両国間の防衛協力等について協議。アフガニスタンに関しては, 両国は2

014年の撤収に向け、共に撤収計画を進めることを確認すると共に、2014年以降の貢献のあり方について協議。

在オランダ・ポーランド大使館、オランダ野党PVVの反移民ウェブサイト抗議【8日】

8日、在オランダ・ポーランド大使館は、同国の反

移民政党PVV(与党に閣外協力)が東欧出身の移民を批判するウェブサイトを開設したとして抗議。同サイトは、東欧からの20~35万人の移民の大半がポーランド人であるとした上で、犯罪、過剰な飲酒、薬物中毒、風紀の悪化等、移民とのトラブルの例を投稿するよう促したとされる。

経 済

EU予算交渉、12月に終了予定【3日】

3日、レヴァンドフスキ予算担当欧州委員は、「2014~2020年のEUの中期財政計画予算に関する交渉は、2012年の12月に終わる見込みである、もし終わらなければ交渉過程が遅れ、新たな事業にも遅れが出る可能性がある」とコメント。同委員は更に、「現在の予算を欧州にとって必要最小限と信じるレベルに維持する。ポーランドは2020年までは安定的な予算を得られるだろう」と発言。

シェールガス開発に係る特別目的会社の設立【3日】

政府はシェールガス開発に係る特別目的会社を設立することを検討。同グループには、PGNiG社(ガス)、KGHM社(鉱業)、PGE社(電力)及びタウロン社(電力)が参加する見込み。4社は最近、ヴェジヘロボ鉱区での開発協力にも署名済み。国有財産省に近い関係者は、PGNiG社がライセンス及びこれまで同社が行った投資の全てを特別目的会社に提供し、他の3社がそれぞれ最初に約1億ズロチを提供することを明らかにしている。4社それぞれが特別目的会社の監査役会に代表権を持つことになる。新会社の会計は独立しており、資金は銀行や株式市場から調達する。これは、同社のビジネス・プランが魅力的なものであるか、そして金融市場がポーランドにおけるシェールガス開発に確信を得ているのかテストされる場ともなる。

農業相、EUの食品残渣を指摘【6日】

6日、サヴィツキ農業相は、欧州議会の食品残渣(ざんさ)に関する解決策について、「欧州では、79百万人が栄養不足に瀕している。もし、EU市民が食品の食べ残しを半分にすると、栄養不足に悩んでいる人たちは4kgの食品を毎日享受できることになる」と述べた。欧州では、年間89百万トンの食品残渣が発生しており、欧州委員会は貧困者対策として年間で5億ユーロを準備する予定。ポーランド食品銀行連盟によると、国内では30万トンの食品残渣が年間発生する一方、200万人の人々が貧困生活を送っている。

国債の発行、順調な見通し【6日】

財務省は2年物国債と5年物国債の入札を行い、これにより最大で60億ズロチの調達を予定。専門家は、政府が問題なく調達できると見込んでいる。ジェニク・ガゼタ・ブラヴナ紙によると、先週、財務省は10年物国債を約30億ズロチ発行、需要はそれを上回る48億ズロチに達した。利回りは第二市場における需要拡大により下落。1月頭には5年物国債の利回りは5.4%であったが先週末には5%まで下落している。

2020年までに小規模農場が消失する可能性あり【6日】

農業食品経済研究所の専門家は、小規模農場を有する約37万の農家が2020年までに消失することになると指摘。一方、こうした傾向にもかかわらず、今後もポーランドでは1~5haの小規模農場が支配的であり続ける見込み。同研究所は、小規模農場が約63万7千あるポーランドの農場のうち52%を占めると推計している。また、その他の専門家は、国内の農場の81%は小規模であるため、生産や収穫量拡大のための潜在力がなく、農業構造における改革なくして生産量の減少傾向を食い止めることはできないと指摘。

補助金と減税、企業優遇措置をめぐる動向【7日】

各企業は、EU及び政府からの補助金並びに経済特別区における減税という二つの優遇措置を享受することが、今後政府によって制限されることを懸念しており、海外投資情報庁は企業から多くの質問を受けている。同庁のマイマン総裁は、今後も両方の優遇措置を受けることができるよう努力していくつもりと約束。この背景には、財務省が、投資額が10億ズロチを超える案件にのみ両優遇措置を与える可能性を提案していることがある。専門家は、そうした投資は国内では稀と指摘。経済省は、新たな基準について検討中と説明。

ディーゼル車の需要が減少【7日】

現在、ポーランドの平均ディーゼル価格が5.77ズロチであるのに対し、ガソリン価格は5.61ズロ

と、ディーゼル価格がガソリン価格を上回っている。英国、ハンガリー、チェコなどでも同様の傾向にある。ディーゼル価格はポーランドの自動車販売状況にも影響を与えている。2010年には新車販売の43%をディーゼル車が占めていたが、2011年には38.2%に落ち込んでいる。中古車市場においてもガソリン車の人気が高まっており、多くの所有者がディーゼル車を手離したがつている。

ポーランド、イノベーションで遅れ【8日】

ポーランドは、2011年の科学技術関連支出が政府部門で8.7%、民間部門で2.7%と前年より増加したにもかかわらず、欧州委員会のイノベーションランキングで順位を一つ下げた。現在23位で、EU加盟国の中では、「中間のイノベーター」に含まれている。24の評価項目のうち、15項目で改善が図られたものの、EU平均を超えているのは大学卒業生数など4つのみ。中小企業の革新技术への投資は、7.5%ほど下がっている。アダムスミスセンターは、「悪い結果は、研究資金の割当先が間違っているため」と指摘する。

ポーランド産鶏肉、中国に進出【8日】

鶏肉生産のKonspol社が海外市場への進出を拡大中。同社は、海外での業務拡張は計画どおりとし、直近の目標は、中国、インドネシア、アルゼンチンへの進出としている。12年半ばには中国での工場建設に着手し、インドネシアの提携先との話し合いは12年末を目途とする。同社代表のKazimierz Pazganによると、「日本の投資家との間でもビジネスコンタクトが開始された。我が社では、すべての工程段階で品質を点検し、最高品質の製品を提供している」と述べた。同社製品は、ピエドロスカ、テスコ、マクドナルド、KFCといったチェーン店に供

給されている。

増大する病気休暇申請が課題【8日】

社会保険庁(ZUS)が委託した調査によると、2011年、政府は病気休暇のために70億ズロチを負担したが、休暇申請者のうち10人に1人の診断書は不当なものであったことがわかった。専門家は、休暇申請増大の傾向は、労働市場の悪化が一因であると指摘。同様の傾向は2009年にもあり、この時も労働市場の悪化により労働者の不安が煽られていた。また、2011年は健康保険負担の停止や滞納が1億5,000万ズロチに上ったことも判明。さらに、社会保障基金(FUS)の調査では、2013~2017年には同基金は170億ズロチの赤字となることが見込まれている。政府は、偽装病欠を防ぐために、1日又は数日の病欠では手当を支払わないという解決策を導入する可能性もある。

PGE 社社長交代と新投資戦略【6, 8日】

ポーランド・エネルギー・グループ(PGE)社は、2月中に同社及び同社子会社のPGE原子力エネルギー社新社長をそれぞれ選任する予定。ザドロガ前社長が双方の社長を兼務していた一方、今後は両社の社長には別人物が就任することになるが、意思決定プロセスがどう変わるのか明らかとなっていない。また、PGE社は新たな投資戦略を近々公表する予定。原子力発電所建設に係る入札プロセスが予定より遅れているが、社長交代及び新投資戦略の策定が原因ではないかと指摘する専門家もいる。新投資戦略では、引き続き石炭火力発電を第1の柱と位置づけ、原子力エネルギーを第2の柱、再生可能エネルギーはこれら2本柱を補完するものと位置づける模様。

社 会

寒波による死者数53人に【5日】

5日、内務省は、ポーランド国内で、3日までの一週間に、寒波の影響で53人が死亡したと発表。犠牲者のほとんどがホームレスの人々で、その多くがアルコールによる酩酊状態の中、避難場所を探していたものと見られる。ポーランドでは、夜中の気温が-30度以下に低下していた。

マドンナ、ワルシャワでコンサート開催予定【7日】

ポップスの女王・マドンナが、8月1日、ワルシャワ

のナショナル・スタジアムにおいて、「2012年ワールド・ツアー」の一環として、コンサートを開催予定。スタジアムを管理する担当者は、「2012年の音楽イベントの中で、もっとも盛大なものの一つになるだろう」とコメント。マドンナ(Madonna Louise Veronica Ciccone)は、1983年のファーストアルバム「Madonna」でデビュー後、2千万枚の大ヒットとなった「Like a Virgin」を始め、これまで3億万枚以上のアルバムを売上げている。

大使館からのお知らせ

平成24年度分教科書の配付について

大使館では、ポーランド在住の邦人子女を対象に、平成24年度分教科書を配付いたします(ワルシャワ日本人学校に通学しているお子様には学校から配付されますので、今回の配付の対象とはなりません)。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20120201.html

ヴロツワフ領事出張サービスについて

大使館は、3月3日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Wroclaw Panorama(Pl. Dominikanski 1, 50-159, Wroclaw)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは、下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoji_sabisu_0112.pdf

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成24年3月31日(土)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

〔開催中〕 日本ポーランドふるしきデザインコンテスト受賞作品展示【2月2日(木)～29日(水)】

在ポーランド日本国大使館広報文化センターにて、「日本ポーランドふるしきデザインコンテスト」の受賞作品展示が開催されます。同ふるしきコンテストは、国際交流基金と当館共催により、文化・国民遺産省及びワルシャワ美術大学の協力を得て、昨年10月～11月に実施されたものです。審査の結果選ばれた12点の作品を、広報文化センター展示ホールにてご覧いただくことができます。入場は無料です。

問合せ先・開催場所: 当館広報文化センター(住所: Al.Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話: 22-584-7300, Eメール: info-cul@emb-japan.pl)

〔開催中〕 A - 21 International Art Exhibition 展示会【2月10日(金)～16日(木)】

ポズナンにて、ポーランドアーティスト協会主催により、日本人のアーティスト・グループ A - 21 International Exhibition の展示会が開催されています。展示会の他、日本人アーティストによるポーランド学生向けのワークショップ等も予定されています。

問合せ先: ポーランドアーティスト協会(住所: Szyperska 2, Poznan, 電話: 61 852 70 17, Eメール: biuro@zpap.lap.pl, ホームページ: <http://www.zpap.org.pl/>)

開催場所: PROFIL CK ポズナン城(住所: Swiety Marcin 80/82, Poznan, 電話: 61 64 65 200, Eメール: sekretariat@zamek.poznan.pl, ホームページ: <http://www.zamek.poznan.pl/>)

〔予定〕 第9回日本文化講座「最後の剣が抜かれる時 - 現代の日本の時代劇」【2月15日(水)】

当館広報文化センターにて、ヤギエロン大学日本学科・文化研究学科教授であるピオトル・クレトフスキ博士により、現代の日本の時代劇についての講演が開催されます。参加は無料です。講座はポーランド語で行われます(日本語への通訳はありません)。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は、広報文化センターまでご連絡下さい。

問合せ先・開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(住所: Al. Ujazdowskie 51, 電話: 22 584 7300, Eメール: info-cul@emb-japan.pl)

〔予定〕 展示会「浮世。日本美術からインスピレーションを受けたヤン・スタニスワフスキとその弟子の絵」【2月21日(火)～5月31日(木)】

狩猟・乗馬博物館にて、日本美術技術博物館との協力により、「浮世。日本美術からインスピレーションを受けたヤン・スタニスワフスキとその弟子の絵」と題する展示会が開催されます。風景画をテーマにした展示で、モダニズム派のポーランド人画家による作品及び日本の浮世絵が展示されます。入場料は大人3 PLN(木曜日は入場無料です)。

開催場所・問合せ先: 狩猟・乗馬博物館(住所: Ul. Szwolzerow 9, Warszawa(ワジェンキ公園敷地内), 電話: 22 522 66 30, Eメール: mlij@muzeum.warszawa.pl)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 news@mail@emb-japan.pl
(ご連絡は電子メールでお願いします。)